<RV-3028-C8 クイックスタートガイド > (1)

※ よく使われる機能のアプリケーションノートの該当ページへリンクしています。

（項目番号はアプリケーションマニュアルの番号です）
（クリックできる部分はマニュアルの該当ページへリンクしています）

・初期設定

電源投入
↓
パワーオンリセット
↓
4.5　時刻・カレンダー設定
　　PORFフラグをクリア
4.12　バックアップ電源設定

※起動時に自動で パワーオンリセット (4.1. パワーオン・リセット (POR))
（レジスタは 3.18 の リセット初期値になります ）

※ 3.3.時計レジスタ (00h～02h)　　3.4 カレンダーレジスタ (03h～06h)
※ PORF（パワーオンリセットフラグ）をクリア (0Eh/Bit:0)
※ 3.15.6 電源切替 及び トリクルチャージの設定 レジスタ (37h)
（設定後に27h／EE commandレジスタにて RAM→EEPROMへの書込み操作が必要）

（以下、必要に応じて設定）

＊ 30h～37hの設定レジスタは『ミラーRAMを伴うEEPROMレジスタ』
となっており各レジスタの設定後に ミラーRAM→EEPROM への
書込み動作が必要になります（重要）。

割込み信号の設定
① 4.8　繰り返しカウントダウンタイマ割り込み信号
② 4.9　時刻更新割込み信号
③ 4.10 アラーム割り込み信号
④ 4.11 外部イベント入力割り込み信号
⑤ 4.12 バックアップ電源切替え割り込み信号
⑥ 4.13 パワーオンリセット割り込み信号

※ 3.6 繰り返しカウントダウンタイマ設定レジスタ (0Ah～0Dh)
※ 3.7 制御レジスタ／USELビット (0Fh)
※ 3.5 アラーム設定レジスタ (07h～09h)
※ 3.8 イベント制御レジスタ／割り込み制御 (13h)
※ 3.15.6 EEPROM バックアップ電源切替設定レジスタ (37h)
※ 3.15.4 EEPROM クロック出力設定／PORIEビット (35h)

4.4 プログラマブルクロック出力の設定

※ 3.15.4 プログラマブルクロック出力設定レジスタ (35h)

4.11 外部イベント入力の設定
・タイムスタンプ（キャプチャ）の設定
　・4.11.2 外部イベントタイムスタンプ
　・4.12.2 電源切替えタイムスタンプ

※ 3.8 イベント入力制御レジスタ (13hアドレス／EHL, ETビット)
※ 3.9. タイムスタンプ設定レジスタ (14h～1Ah)

4.6.4 オートリフレッシュの設定
（初期値 :オン）

※ 3.7 ステータス及び制御レジスタ (EERDビット／0Fhアドレス:Bit2)

(以下はあまり使われない機能です)

4.18 パスワードロックの設定

※ 3.12　パスワード設定レジスタ (21h～24hアドレス)

4.16 UNIXタイムカウンタの設定

※ 3.10　UNIXタイム設定レジスタ (1Bh～1Ehアドレス)

4.15　周波数オフセット設定

※ 3.15.5 EEPROM オフセット・レジスタ (36h～37h)

ユーザー EEPROM の使用

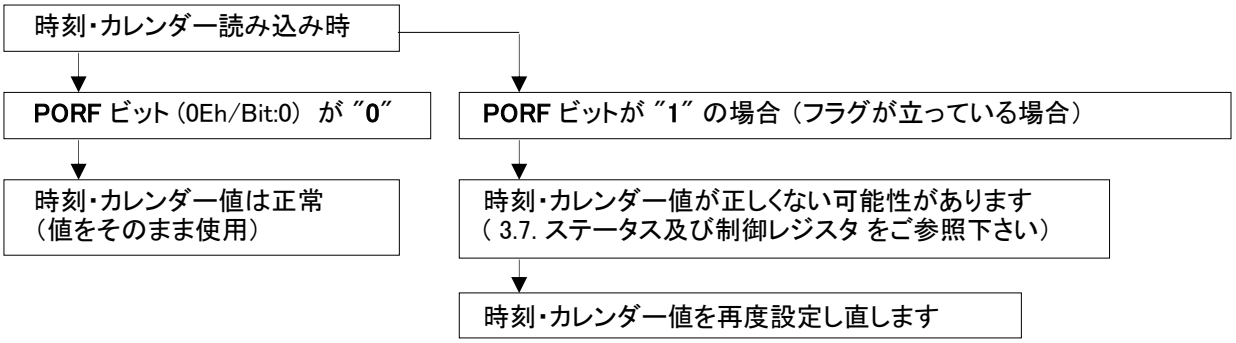
※ 必要に応じてユーザー EEPROM を使用出来ます。
ユーザー EEPROMへの書き込み・読み取りは
27h EE Command レジスタを使用します。

<RV-3028-C78クイックスタートガイド>(2)

※ よく使われる機能のアプリケーションノートの該当ページへリンクしています。

（項目番号はアプリケーションマニュアルの番号です）
（クリックできる部分はマニュアルの該当ページへリンクしています）

・通常動作時 のタスク



割り込み信号の発生時

・必要に応じて割り込み信号の種別を識別 （ 3.7 ステータス及び制御レジスタ内の各フラグレジスタ ）
・割り込み信号の種別に応じて必要な操作を行います
・発生している割り込み信号のフラグをクリアします。

外部イベント入力割り込み信号の発生時

・タイムスタンプ機能を使用している場合はRTCにメモリされているタイムスタンプ情報を読み取ります。
（ タイムスタンプ機能を電源切替機能にトリガしている場合はメイン電源に復帰後にタイムスタンプ情報をRTCから読み込みます）

パワーオンリセット割り込み信号の発生時

・パワーオンリセット(POR)割り込み信号を設定している場合は、POR発生時に割り込み信号が発生します。
時刻・カレンダー情報を再設定し、PORFフラグをクリア、必要に応じて各設定を再設定します。

ソフトウェア・リセットの使用

・タイミングリセットが必要な場合はリセットビットの機能を使用します（ 4.17. リセットビット機能をご参照下さい ）。
RESET ビットによりレジスタ設定が初期化することはありません。タイミングのリセットのみです）

・繰返しカウントダウンタイマ機能の ウォッチドッグタイマとしての使用

・タイマ設定後にタイマ時間内に 制御レジスター 1 (0Fh) に設定を再書き込みするとタイマカウントダウン値がリセットされるため、繰り返しのウォッチドッグタイマとして利用できます。
（書き込みが途絶えた際にタイマ割り込み信号が出力されます）